

## 事業者向け 児童発達支援自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			多目的室も活用し問題なく支援が出来ている。 放課後等デイサービスと重なる時間は狭さを感じる時もある。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		送迎時でも常に2人以上、指導訓練室に職員配置をしている。 職員の欠席者がいると少ないと感じる時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		トイレ等すべての室内がバリアフリーになっている。 軽度知的障がいのお子様が通所されているので、すべてバリアフリーである必要はないと思われる。 室内の段差などもなく安全面の配慮をしている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1		職員全員で話す時間が少ない。 個別支援・課題への取り組み方法を職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			事業所評価の実態や個々の意見等も聞き業務改善を行っている。 保護者のニーズを把握し、より良い支援のため業務改善に心掛けている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			評価の結果を踏まえ日々の活動の様子をホームページ等で公開している。 日々の活動はInstagram等(会報)に載せている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	1	第三者委員の評価を聞く機会を設けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			ミーティング時または職員全員の都合がつく日に月に一度程度の研修をしている。 感染予防や災害時の対応や虐待防止また個別支援の内容等の話し合いをしている。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		ミーティング時に一人ひとりのニーズや課題について話し合い、支援計画の修正・補足をしている。 中間評価を通して積極的に保護者と面談して支援計画の作成をしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		行動分析をして、適宜対応している。
	⑪	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		支援計画に具体的な項目を設定して順次対応している。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		ミーティング時にそれぞれの利用者の現状と今後の支援方法など打ち合わせをしている。 支援計画にズレがないよう職員間での話し合いの場を設けている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		ミーティング時や活動の前日・当日に職員同士で話し合う機会を設けている。 月ごとで活動プログラムや個別で取り組む課題をチームで話し合っている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7		年間・月間のスケジュールを過去のものとは照らし合わせて日々修正をしている。 季節ごとに応じた活動や個別課題を見直した取り組みになっている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		状況に応じた取り組みになっていて、活動内容を踏まえた計画になっている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		送迎前に口頭での打ち合わせをしている。 個々のお子様の利用日の前日に、個別支援の課題の準備と集団活動の役割分担を職員間で話し合っている。また、当日に再確認を行っている。 支援開始時に必ずではないが、適宜打ち合わせは行っている。役割分担は支援中も確認し、連携をとりながら進めている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		勤務終了前に、その日の反省などを話し合える場を設けている。 支援記録と連絡ノートへの記入の際、職員間で支援の振り返りを行っている。

					<p>パート職員さんとの振り返りをもう少し行ってきたい。</p> <p>支援終了後に必ずではないが、適宜打ち合わせを行っている。</p>
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		<p>個々の記録を毎回同じ職員が記入することがないように配慮をしている。</p> <p>日々のノートや支援記録を参考にして支援への検証・改善につなげている。</p>
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		<p>ミーティング時の話し合いを参考にして支援計画の見直しをしている。</p> <p>中間評価等を行い保護者に説明した上で支援計画の見直しをしている。</p>
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	<p>常に児童発達支援管理責任者が参画している。</p> <p>職員間で情報共有をしている。</p>
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		<p>保健センター等からの連絡に即時対応している。</p>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			<p>当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。</p>
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			<p>当施設は、重症心身障害施設以外のため該当しない。</p>
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		<p>日々の活動内容をこども園等と共有して移行に向けた取り組みをしている。</p>
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	<p>送迎時等を利用して相互理解を図っている。</p>
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	<p>他事業所に通っている児童の様子を聞いたり支援内容を確認して支援の参考になっている。</p> <p>専門機関との連携を取っているが研修等コロナの為、社外研修の参加を控えている。オンライン研修を受けている。</p>

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	3	保育所等訪問支援の中で、こども園と連携して支援内容を共有している。
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	2	今後参加していきたいが、案内等が入らない。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日々の連絡ノートや中間評価を通して相互理解を深めている。 送迎時などの引き渡しの際に様子を伝えたり相談に応じたりする。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	2		面談や送迎時などで気付いたことを伝えている。 身辺自立(トイレトレーニング・スプーンの持ち方等)に向けたアドバイスをしている。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			ご契約時に丁寧に説明をしている。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			支援の様子を伝え中間評価で意見交換をした上で今後の個別支援への説明を行い保護者の納得を得た上で児童発達支援計画の同意を得ている。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			面談に悩みごとの相談を受けた際には、必要な助言をしている。 送迎時に相談を受けることがあり、必要な助言と支援を行っている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			保護者交流会を年2回程度開催して保護者同士の交流の場を設けている。 その際、本の読み聞かせなどの支援に役立つ情報の勉強会を設けている。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			子どもや保護者からの相談や申し入れには、迅速かつ適切に対応している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		行事予定を発信している。 長期休暇前には行事予定を配布している。 HP・SNSも頻繁に更新し活動の様子も配信している。

	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			個人情報同意書をもって、保護者へ説明して個人情報の取り扱いには十分注意を払っている。 個人情報の取り扱いを職員同士徹底している。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			支援方法・課題の取り組み方法を分かり易く説明している。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	地域住民への招待はない。 保護者交流会は開催している。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			業務継続計画（BCP）を作成して研修等で勉強会を開催して訓練を実施している。 各マニュアルを策定し勉強会を開き訓練をしている。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			避難具の点検整理をして、避難訓練の準備をしている。 定期的に避難訓練を行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			アセスメントシートを用いて確認をしている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		食物アレルギーに関する同意書を契約時に提出して頂いている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハット報告書を作成して共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止に向けた研修会を定期的で開催して、職員間で認識を共有している。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			身体拘束が必要な児童がいない。